

札幌芸術の森美術館の基本理念

札幌芸術の森美術館は、創造都市・札幌の美術文化振興の重要な拠点のひとつです。さまざまな活動をとおして、人々のかぎりない想像力イマジネーションと創造性クリエイティビティをはぐくみ、喜びと希望に満ちた心豊かな街づくりに貢献します。

- 1 広い視野と高い見識にもとづき、札幌および北海道を軸とした国内外の優れた美術作品を収集します。
- 2 収集した美術作品は、美術文化的な価値を明らかにし、教育的配慮のもとに公開するとともに、良好な状態で保存し、後世に伝えます。
- 3 国内外の美術文化の動向を、歴史的ないしは同時代的にとらえ、多彩な切り口による美術展覧会を企画し、開催します。
- 4 美学、美術史学、美術館学などの研究を通して、高度な専門性と広い文化史観を養い、その成果をすべての美術館活動に反映します。
- 5 地域の各種文化芸術機関等と協働し、同時に国内外の文化芸術機関との交流を盛んにし、北方の美術文化を発信します。
- 6 地域社会と双方向に影響しあえる健全な関係を構築し、ともに手を携え地域の美術文化の振興を目指します。
- 7 「札幌芸術の森野外美術館」(常設展示)および「佐藤忠良記念子どもアトリエ」(展示・ワークショップ)とともに、子どもから高齢者まで幅広く利用できる生涯学習の場として活動します。
- 8 運営状況に関する評価システムを確立し、適宜検証を行い、よりよい美術館づくりに努めます。